

# 病児病後児保育のご案内☆

子どもの発熱で保育園に登園出来ない、また解熱後も咳や鼻水が続いてしばらく子どもの様子を見たいところだけと仕事を休めない、祖父母に頼りにくい…そんなご家族の皆様にご案内したいのが横浜市病児病後児保育事業です。

※情報は変わっている可能性があります。公式HPなどをご覧頂き、ご確認ください。

## 【病児病後児保育利用について】

### ○事前登録(無料)が必要

利用前日までに書類提出等が必要になります。急病大ピンチ！ないつかの日のため、お時間があるときに利用したい施設の事前登録をしておくことをお勧めします。

横浜市や各施設のHPからダウンロード出来る第3号様式書類の記入が必要ですが、書類・登録方法が異なる場合もあるので、必ず各施設の情報をご確認ください。

※第4(医療機関記入)・第5(保護者記入)号様式書類は利用当日に提出となります。

### ○利用料は2,000円/1日

### ○当日は預ける前に以下2つのことが必要 ※どちらが先でもOK

★医療機関での受診(第4号様式書類を書いてもらう)

★病児保育室に連絡予約(第5号様式書類記入+各施設で必要な物を提出)



### ○保育時間

★病児保育 → 平日8:30~18:00(お迎えは必ず17:30までに!)

★病後児保育 → 平日7:30~18:30/土曜7:30~15:30

### ○昼食・おやつはお弁当持参(施設によっては給食を提供しているところもあり♪)

## 【メリット】

○流行性の病気(手足口病など)でも利用可能です。もう元気なのに解熱後しばらく様子を見る必要あり…そんなインフルエンザの出席停止期間も利用出来るのが強みです。

※はしか、はやり目は不可。もちろんコロナも。また、流行性の病気でも例外あり。

○ベビーシッターなどに比べて、利用料がリーズナブルなところです。

○病状に合わせてではありますが、少人数での個別保育をしてもらえることが多いです。

テレビを見せてくれたりすることも。また、投薬もしてくれるので安心です。

## 【デメリット】

○★病児病後児保育室は駅から離れた場所が多い

★保育時間に制限がある

★受診や予約をしてからの利用になる

★場所によってはお弁当の用意



体調不良の子を連れての忙しい朝となりそうです。仕事の調整も必要かもしれません…。

○定員一杯でキャンセル待ちになってしまうことも。複数箇所の事前登録がお勧めです。

解熱後も仕事中に保育園からの呼び出しが絶えない毎日だと、ご家族の皆様もお子様も皆心が落ち着きませんよね。キャンセル待ちのイメージが強いですが、意外とすんなり予約を取れたりもします。実は“思ったよりハードルが高くない”印象のある病児病後児保育、困った時は一つの方法として、是非参考・活用してみてくださいね。